

# キミカ新社屋完成

## 富津 世界水準の研究設備



世界水準の研究環境を整えたキミカ新社屋  
=富津市

アルギン酸メーカーのキミカ(東京都中央区、笠原文善社長)が、創業80周年事業として富津市大堀に建設していた新社屋「キミカ

本館」が倉庫2棟とともに完成した。世界水準の研究設備と環境性能を備えた新オフィスとなっている。鉄骨・鉄筋コンクリート

2階建て延べ床面積3717平方メートルの本館棟のほか、アレルゲン棟、原薬棟からなる。オフィス、研究開発ラボ、品質管理ラボ、福利厚生施設を集約し、従来比でオフィスは3倍、研究スペースが4倍となった。

オープンな理化学試験エリアに加え、機器分析室、微生物試験室、安定性モニタリング室などを備える。また、輻射(ふくしゃ)熱(熱移動の原理)を生かした空調を採用し、環境負荷を50%以上削減した。

竣工式で笠原社長は「ここを世界のアルギン酸産業の頂点に仕立て上げていかなければならない」と話した。

建設に当たり、京葉銀行、千葉銀行、千葉信用金庫、君津信用組合など地域金融機関によるシンジケート団が資金を支援した。